

「自治会ブロック対抗 スポーツ大会」

中島 岩雄（東小地区・4期目）

かなり気温が低い日でしたが、毎年恒例となっている自治会連合会のスポーツイベントが2月5日、総合スポーツセンターで午前9時30分から開催されました。競技種目は「インドアペタンク」で、屋外で鉄球を投げるフランス生まれの「ペタンク」を屋内でもできるようにアレンジしたもので、高齢者や小学生も無理なくできます。とはいえ、ボールを投げるときは集中力やチーム内のコミュニケーション能力が必要で、見ている人も含めて大いに楽しめるスポーツと言えます。

従来、自治会連合会のスポーツ大会は「綱引き」を実施していましたが、かなり厳しい競技であったため、参加チームが徐々に減ってしまい、種目の見直しが行われて「インドアペタンク」になりました。

今年は自治会連合会の全20ブロック中、15ブロック（30チーム）が参加し、参加者とスタ



ップを合わせて150人を超えるという大会始まって以来の大規模な大会になりました。

インドアペタンクはルールが簡単なもので、初めてやる参加者もすぐに覚え、競技が始まると真剣にプレーをしていました。

試合時間を15分としたことから、ほとんどの試合が3メー又（野球で言えば3イニング）ぐらいでタイムオーバーとなり、もの足りなさや勝負に集中するあまり、審判にクレームを申し入れるチームも見受けられました。

しかし、このスポーツ大会は親睦が目的であり、皆さんが顔見知りになって楽しく体を動かす機会になればと思っています。来年も多数の方々に参加してほしいと思います。

「新春体力づくり 歩け歩け大会」

雨倉 寿久（武蔵野小地区・5期目）

1月1日、毎年恒例の昭島市体育協会主催の「新春体力づくり歩け歩け大会」が行われました。今年の元旦は風もなく、気温も13度と歩くには最適のお正月日和となりました。

出発地である昭和公園自由広場では、午前11時30分から開会式が行われ、主催者のあいさつに続いて臼井新市長をはじめ、来賓のあいさつや紹介がありました。続いてスポーツ推進委員による準備体操である「昭島体操」を行い、参加者全員の身体もほぐれたところで、ゆっくりとゴールの拝島第一小学校を目指して出発しました。

江戸街道に沿って歩いて行く中、途中の交差点や横断歩道では体育協会の方々が和やかな笑顔で交通整理をしてくれていました。参加者の安全を考えてのボランティアであり、ありがたいと思えました。

約2キロメートルほど歩くと、休憩所のあいぽっくが見え

てきました。あいぽっくでは、トイレに行ったり、用意されているジュースや牛乳で喉を潤していました。身体もリフレッシュしたところでいよいよ最終地点のゴールを目指しました。

途中で拝島大師から帰る多くの参拝者とすれ違いましたが、みんな新年を迎えて明るい顔をしていました。午後2時には全員無事にゴールしました。そこで参加者40人とお神酒をいただき、完歩と新年をお祝いしました。

「新委員紹介」 小川 智子（共成小地区）



このたび、スポーツ推進委員の一員となりました。

2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピックが日本で開催されます。わくわくしますね。さまざまなスポーツを通じて、地域の皆さんとお会いできることを楽しみに活動してまいります。